教育学科（小特コース）履修系統図

系統・能力・内容（DP）	校種	1年次	2年次	3年次	4年次

教育学の基礎を学ぶ

＜幼児・児童理解＞

・幼児・児童一人一人の発達の特性を理解し、適切に支援できる知識と能力を具えている。

＜教育に対する使命感と責任感、愛情＞

・教育に対する強い使命感と責任感を持ち、愛情をもって幼児・児童に接することができる。

特別支援

小学校

- 日本国憲法
- 児童・家庭福祉論
- 教育学の基礎 ／ 教育学概論A
  - 家族社会学
  - 教育社会学概論A ／ 教育社会学各論
  - 教育心理学論A ／ 教育心理学各論
  - 発達心理学 ／ 発達心理学各論
  - 教育学特殊講義Ⅰ
    - 教育学特殊講義Ⅱ ／ 教育学特殊講義Ⅲ
- 教職論A

特別支援学校・小学校教諭としての知識と技能を積み上げる

＜確実な知識、理解、技能＞

・教育の基礎的な知識を有し、「考える楽しさ」「学ぶ喜び」を育てる専門職として、学んだ知識・技能を高め続けようとする研究心や意欲を具えている。

＜ICT活用能力＞

・情報コミュニケーション技術等を用い、情報収集・分析・プレゼンテーションを適切に行うことができる。

特別支援

小学校

- 特別支援教育の基礎 ／ 特別支援教育総論
  - 特別支援教育の理解A
- スポーツⅠ
- 健康科学
- 情報処理実習
- 英語Ⅰ ／ 英語Ⅱ
  - 英語Ⅲ

特別支援学校・小学校教諭としての専門性を伸ばす

＜課題解決能力＞

・教育活動等における課題を把握し、その課題解決に必要な情報の収集・分析・整理をし、その課題の解決ができる。

＜健康な心身と豊かな人間性＞

・心身の大切さを理解し、豊かな人間性に基づいた教育活動を展開できる。

・心身の大切さを理解し、豊かな人間性に基づいた教育活動を展開できる。

＜道徳性と倫理観、社会性＞

・倫理、道徳に関する知識と技能を踏まえ、自らの良心と社会の規範やルールに従って行動し、人々の幸せや地域・社会の発展のために貢献できる。

特別支援

- 肢体不自由教育論
  - 肢体不自由者の心理･生理･病理
- 病弱者教育論
  - 病弱者者の心理･生理･病理
- 視覚障害者教育論
  - 視覚障害者の心理･生理･病理
- 知的障害者総論
  - 知的障害者の心理･生理･病理
- 聴覚障害者総論
  - 聴覚障害者の心理･生理･病理
- 重複障害者総論
- 発達障害者総論
- 自閉症者教育総論

小学校

- リエゾンゼミⅠ
  - リエゾンゼミⅡ
    - リエゾンゼミⅢ
      - リエゾンゼミⅣ
- 教育課程の意義と編成
  - 生徒指導･進路指導論A
  - 教育相談の理論と方法A
- 国語科概論
  - 国語科の指導法 ／ 国語科教材研究
- 社会科概論
  - 社会科の指導法 ／ 社会科教材研究
    - 地域研究法
- 算数科概論
  - 算数科の指導法 ／ 算数科教材研究
- 理科概論 ／ 理科の指導法
  - 理科教材研究
- 生活科概論 ／ 生活科の指導法
  - 生活科教材研究
- 表現技術Ⅰ（音楽）
  - 表現技術Ⅱ（音楽） ／ 音楽の指導法
    - 音楽教育
- 表現技術Ⅲ（美術） ／ 図画工作科の指導法
  - 児童美術論
- 家庭科概論 ／ 家庭科の指導法
  - 家庭科教材研究
- 表現技術Ⅳ（体育実技） ／ 体育科の指導法
  - 体育科教材研究
- 英語活動概論 ／ 英語活動の指導法
  - 英語活動教材研究
- 道徳の指導法A ／ 道徳の教材研究
- 特別活動の指導法
- 教育方法論
- 総合的な学習の時間の指導法A

特別支援学校・小学校教諭としての実践力を伸ばす

＜実践的な指導力＞

・学んだ諸能力を教育現場で効果的かつ柔軟に発揮できる実践的な指導力を具えている。

＜自らの実践に対する省察＞

・自らの「学び」を土台として、自ら考えたことや実践したことについて省察し、新たな課題に立ち向かう柔軟さや粘り強さを具えている。

＜コミュニケーション能力、チームワーク＞

・連携、協働の大切さを理解し、幼児・児童並びに地域住民や保護者、教職員と連携し、自分と異なる考えを持つ人とも互いに尊重しつつ、教育課題等にチームとして取り組むことができる。

特別支援

小学校

- 教育実習の事前指導
  - 教育実習の事前事後指導 ／ 教育実習（特別支援学校）
- 教育実習の事前指導
  - 教育実習の事前事後指導 ／ 教育実習（小学校）
    - 教職実践演習
- 教育実践活動Ⅰ
  - 教育実践活動Ⅱ
    - 教育実践活動Ⅲ
      - 教育実践活動Ⅳ（特別支援）
      - 卒業論文